



QRコード  
登録お願  
いします。



## 西郷小初リモート配信 きてみんしゃい祭り大成功

ウイズコロナの時代ということで、本校でも「どうしたらできるか」を念頭に工夫しながら行事を進めて参りました。修学旅行後2週間も何事もなく経過し、幸いなことに「きてみんしゃい祭り」も無事に開催することができました。これもひとえに保護者の皆様のご理解とご協力ゆえと受け止めております。今回は、前半後半の2部制にし、それぞれzoomを使ってのリモート配信という方法を試みました。少々音が聞こえづらかったという声があり、改善すべき点として次回に活かしていきたいと思っております。まずは、穏やかな天気にも恵まれ、皆が笑顔で会場を後にできたことに安堵しております。感染防止のご協力にも感謝申し上げます。

1年生は「西郷小バージョンくじらぐも」を披露してくれました。ふわふわの白の衣装に白帽子。大きなくじらぐもは1年生をのせて散歩をしました。♪くじらにのってどこまでも～♪のとおり、1年生が空から見た景色を思う存分楽しんでいる様子が微笑ましかったです。

後から聞いたところ、全員、自分がやりたい役割をやっているということでした。ナレーターさん、子ども役、くじら役と皆が自分の役割をやりきってつかんだ大成功だと思います！！



2年生は、枕草子とSDGsの「物を大切にしよう」「みんなで協力しよう」をテーマに、学習を振り返るという内容の濃い発表をしてくれました。感心したのは、枕草子を全員が暗唱していることです。そして、全員がステージ発表に耐えうる声量で自分の台詞を言えたことです。これぞ日頃の練習の賜です。

練習ではタイミングがなかなか合わずやり直しを何度もやっていましたが、本番では見事にそろいました！！やりましたね！



3年生は、総合で学習した吉田絃二郎のことを、俳句や詩の暗唱、自分達が描いた絵や習字の紹介、リコーダー演奏、写真や動画による紹介など多彩な表現が10分間の中に凝縮していました。

最初のリコーダーで場の雰囲気をはらりと変え、最後のリコーダーとピアノの演奏を聴きながら、3年生手作りのパンフレットが映像で流れるシーンに、これまでの皆さんの練習でのがんばりが思い出され、感動しました。23日は成功間違いなし、ばっちりです☆



4年生は、長い時間をかけて総合で学習した尾崎焼のことを、グループ毎に紹介してくれました。自分達が伝えたいことを大切にしながらの発表でしたので、全員堂々としているなあと感心して見ていました。

4年生は、今日だけでなく、日頃の練習風景や授業中の様子等も高学年らしい集中力があります。今日の発表は特別ではなく、非常に落ち着いていて、日頃の力を披露しているという感じに見えました。総合のノートにも学びの足跡が残されており、書く力の伸びを感じます。



5年生は、SDGsの「飢餓をなくそう」の観点で、稲作から販売、そしてユニセフへの寄付と、単元を通して人とのつながりや環境面での配慮など、様々なことを学びました。それを短時間でプレゼンテーションにまとめ上げ、発表してくれました。今回の単元は、地元の平山様やJA神埼の方々の協力あってのことで実現したものです。次世代に農業の大切さや良さを伝えたいとの思いを、5年生はしっかりと受け止め、感謝の思いで発表をすることができました！お米もあつという間に完売！！



6年生は、長崎での学びを平和や歴史などの観点で、「己のごとく人を愛せよ」と言われた永井博士の言葉も紹介するなど、難しい内容もありましたが、プレゼンテーションでわかりやすく伝えてくれました。

メモカが非常に高く、それが発表にも表れていました。説明文章を作り、それに合った写真を選び、練習を重ねていたことがわかる発表で、最上級生らしい堂々とした発表ぶりは、下級生の良き見本となりました。素晴らしかったです！！



集会委員会は、今年は前半後半ということで、全員が何かの仕事をすることになりました。しかし、どの子も自分の担当の台詞をはきはきと伝えてくれ、全体的にしまった会となりました。

終わりの言葉担当の山口さんは、会の始まりから「緊張する～」と言っていました。最後は暗唱がうまくいったと自分の感想も添えて会を締めくくってくれました。緊張は微塵も感じられませんでしたよ！



お話宝箱様いつもありがとうございます

「おならのしゃもじ」を今回は披露してくださいました。毎年、何ヶ月も前からの題材選びに始まり、練習や小道具準備と何度も集まってこの日のためにご苦労くださっています。子ども達のために本当にありがとうございます！

◆朝の時間8:25から10分ほど読み聞かせに参加して下さる方を募集しております。月1回でも大丈夫です。連絡は学校まで。

誰かに伝える場があることは、漫然と何かを学ぶだけでなく、意図的に学ぶという作用をもたらします。相手に伝えられた安堵感や喜びは、子どもたちの心の中に広がります。

そして、学級や学年の力で得られた今回の成功体験は次の意欲へとつながり、子どもたちの中に主体的に学ぶ態度を育てていきます。

「きてみんしゃい祭り」を参観になられての感想等、担任あてにいただければ幸いです。

☆PTA福祉教育部及び本部役員の皆様 ありがとうございます☆

今回は感染防止のためバザーができないということで、ジュース販売という形を取らせていただきました。お陰様で、2万円以上の売上げとなり、全額PTA会費に入させていただきます。

この場を借りてお礼申し上げます。



子どもも職員もがんばりました！！

行事に向けて、数ヶ月以上前から準備することもあります。今回の出し物についても子ども達が主体になるように趣向を凝らし、本番に向け気持ちを高めていったのは手前味噌になりますが、職員のかだと思っております。また、今年はリモート配信ということでいつもと違うことも加わり、当日は緊張の連続だったようです。

さらに、当日の運営がスムーズに動くようにと駐車場の準備を早朝からしてくれた教頭先生や小淵先生、リモート配信を支えた林先生など、見えないところで率先して動いてくれました。子ども達そして職員の全校でつくりあげたきてみんしゃい祭りができたことに感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

